

2023.10.08.自分が不当な扱いをされたのか、自分が不当に扱ったのか

第一ヨハネ 5 章 16 節 17 節

JD ファラグ牧師

一緒に祈りませんか？ 主よ、本当にありがとうございます。主よ、御教えを感謝します。第一礼拝の「聖書預言・アップデート」をありがとうございます。主よ、あなたの御言葉「第一ヨハネの手紙」に入るとき、あなたが今までもして下さっているように、主よ、続けて語ってください。聖霊よ、導き、示し、お教えてください。御言葉で共に過ごす時間をありがとうございます。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。どうぞご着席ください。ありがとうございます。オンラインで参加の方も、見て下さり大変嬉しいです。見て下さって、祝福されると信じます。始める前に、「マウイ島ミッション支援」の最新情報をお伝えします。まず、マイク・ラオからの残りのコンテナについてのテキストメッセージを共有します。埠頭の素晴らしい港湾労働者についてご存知ない方のために、私は彼らにもう一度エールを送ります。彼らは、本当に、素晴らしい。一拍手喝采—
彼らは主にある兄弟たちで、主が、マウイで最も必要な物資支援の道を切り開くため力強い方法で用いておられます。兄弟マイクからの最新情報を分かち合います。

「アロハ、J.D.、最終ロットの 40 フィートコンテナ 7 本がマウイ島に輸送され、既に到着しています。私たちは、先月配布された物資の量の溢れ出る愛に感謝しています。神は、いつもそうであられる通り、とてもご忠実です。これは、この 2 ヶ月間に出荷した 50 本以上のコンテナの最後のロットです。...

8 月 8 日 (火) に (この火災が) 起きて、ほぼその日のうちからですよ。今日は、10 月 8 日です。あの日から 2 ヶ月です。...主の導きと見極めのために祈ってくださった皆さんに感謝します。どうか、マウイの人々のため、祈り続けて下さいますように。」

また先週、ペリーとローリー・アレンについて最新情報をお知らせしましたが、多くの皆さんがご存知の通り、ローリーは全身の 70% 以上をやけどで損傷し、先週の金曜日、主と共にいるため天に召されました。私たちは、ラハイナのカルバリーチャペル・ウエストサイドとスティーブ・サントス牧師に寄り添い、まだここオアフ島にいるペリーへの経済支援をしています。ですから、私たちが継続しているのは、彼がオアフにいる間の食事提供です。食事提供に興味がある方には、玄関口にチラシを置いています。第一礼拝でもお伝えしましたが、オンラインの方には、リンクがあり、DoorDash というのや、他にいろんな種類のものに参加できます。ペリーのために、その期間中に手伝いたいという方がおられたら、彼は、今はここにいますが、どこに行くかわかりません。ラハイナに帰るところはありません。最後に、自動車を失った人たちのために、私たちが自動車を提供できるようお祈りください。最初に考えた大規模でこれを行う計画は、限りなく複雑であることが判明し、つまり、政府が関与していることで、限りなく複雑になりました。これ以上言う必要はないですね。ですから、プラン B (第二案) は、おそらく今や、プラン E (第五案) に近く、私たちは、大規模ではなく、個人ベースで、車を代替えています。実際、車を失ったある家族に車を提供できました。これが金曜日のことで、主の御心なら、明日届けることができるでしょう。これは、マウイ島のジムフォーク・オートモーティブ・グループ、キリストの兄弟ダニー・アサオの計らいで、私たちは、車を最も必要としている人々に車を提供するため前進しています。そのため、私たちは皆さんのお祈りを切望します。それでは、御言葉に入りましょう。今日、主が私

たちに何をご用意されているのか楽しみです。「第一ヨハネの手紙」を節ごとに学んでいて、ほぼ終盤ですが、急ぐ必要はありません来週、(終了する) かもしれません。そのうちわかるでしょう。

「私たちがまだここにいるなら」それを入れねばなりませんでした。今日の箇所は、「第一ヨハネの手紙 5章」再び2節だけで、16節と17節です。可能であれば、ご起立いただき、ご無理なら座ったままでも全く結構ですので、私が神の御言葉を朗読するのについてきてください。使徒ヨハネは、聖霊に導かれ、こう書きます。16節、

— 1ヨハネ 5：16 —

だれでも、兄弟が死に至らない罪を犯しているのを見たなら、...

隣人に電話して、このことを伝える必要がある。違います！！ 追加料金なしで、余談ですよ。もう一度、はじめから。

— 1ヨハネ 5：16 —

だれでも、兄弟が死に至らない罪を犯しているのを見たなら、神に求めなさい。そうすれば、神はその人にいのちを与えてくださいます。これは、死に至らない罪を犯している人たちの場合です。しかし、死に至る罪があります。これについては、願うようには言いません。

— 1ヨハネ 5：17 —

不義はすべて罪ですが、死に至らない罪もあります。

これは大変自明のことだと思います。祈りで締めくくられますね。よろしければ、ご一緒に祈りで始めませんか？

主よ、これはあなたの御言葉において、あなたが私たちに学ばせたいことは何かを、聖霊が私たちの教師となられ教えて下さる事を切に必要とする箇所の一つです。ですから、この箇所は、理由があって私たちの聖書にあるのです。主よ、私たちはその理由が何か知りたいです。あなたが、ここで私たちに何を見せられたいのか、何をご用意されているのかを知る必要があります。私たちは、あなたが御言葉の中で、また御言葉を通して私たちに語られたいことを聞く耳を持ちたいのです。聞く耳だけでなく、見る目と受けとる心を。ですから、主よ、私たちの人生にお語りください。特に、ヨハネがここで書くことは、今日の私たちのためだからです。ですから、主よ、お語りください。あなたのしもべたちは聞いています。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。 どうもありがとうございます。OK。素晴らしいスタートをきれましたね。問題について、話したいと思います。私たち誰もが抱えている問題で、

「自分が間違い/不当な扱いをされたのか、それとも、自分が間違っているのか。」

(自分が傷つけられたのか、それとも自分が傷つけたのか。)

私は不当な扱いをされているのか？ それとも、私が間違っているのか？ なぜ私をそんな風に見るんですか？ — (笑) — まあ、実際、私たちは両方です。大抵。しかし、今日私が話したい問題は、間違いを正す必要があることです。今日、私たちの前にある箇所に入り、ヨハネが聖霊によって聖書の、言わば雛形で示すのは、私たちが間違い/不当な扱いをされようとされまいと、間違いを正すにはどうするのかを見極める事です。真実を知らしめれば、自分自身に正直になれば、多くの場合、間違い/不当な扱いを受けたのではなく、実際、自分が間違っているのです。お許しいただけるなら、私も含め、私たち全員がこの点に関して、自問自答に適した3つの質問を投げかけ、今日の箇所の学びを進めます。

あらかじめ警告しないと、大失態になるのは、私たちがここで見るものは、正に大変罪の示しがあるでし

よう。罪の示しとは、つまり、これは私たちの罪の性質すべてに敵対するからです。同時に、私たちの新しい性質に、聖霊の御力が必要です。聖霊がおられなければ、どうしようもできないからです。私たちの罪の性質はこのことに苛立つからです。今でさえ、私はこれを言う時誰も見たくありません。今でさえ、苛立って、抵抗し、首はこわばり、心は硬くなり、「私じゃない！！私は間違っていない！！私が間違い/不当な扱いを受けているんだ！！」上手くでき過ぎましたね？ — (笑) —

あまりに多くのことが明らかになるかもしれません。特に、夫婦関係に関して。これは結婚についての説教ではありませんが、そうなるかもしれません。自分自身に正直であれば、真実ではないですか？

私の結婚についての話ではありません。私は牧師ですから、完璧な結婚生活です。あなたの結婚についての話です。— (笑) — あなた方が対立し、意見の相違がある時、

「私は謝らないぞ！彼女が私に謝る必要がある。私は何も悪くない。彼女が悪いんだ。」再度、上手すぎましたね。私はプロで、この分野で博士号を持っていますから。大変説得力のある3つの質問、説得力があると強調したのは理由があります。その理由は、私が確信/罪の示しがあるなら、あなたにも確信/罪の示しがあってほしいからです。いいですか？ 私たちは明確で、ここで全開示です。しかし、私たちが自らに問いかけるべき3つの非常に説得力のある質問で、さらに一步踏み込んで、この点に関して聖霊に、私たちの心を自由に調べていただく許可を与える事です。

では1つ目、16節前半、質問1：「自分は彼らのために祈るのか？」

2つ目、16節後半、質問2：「自分は彼らへの愛があるのか？」

3つ目、17節、おそらくもっと重要で、

質問3：「自分が彼らに間違い/不当な扱いをしているのか？」

この3つの質問を取り上げ、取り組みます。聖霊の助けをお借りし、私たちが今日ここに来たときとは違ってここを去ることが、私の祈りであり希望です。見た目の話ではありません。みなさんは、大変素敵ですからね。この1つ目の16節前半から始めます。これは重要/大きいです。本当にすべてはここから始まります。「自分は、彼らのために祈るのか？」あえて、逆の質問をします。「自分は、彼らの噂話をするのか？」ヨハネが、具体的に指していることは、間違っして罪を犯している兄弟を指しているからです。ですから、ヨハネは言います。「彼らのために祈りなさい。」彼らのために祈りなさい。ある兄弟がいて、彼は罪を犯していて、死につながる罪ではありません。このあとその話をします。しかし、その兄弟は死に至らない罪を犯して間違っている。「彼のために祈りなさい。」彼の噂話をしない。彼のために祈りなさい。彼が犯している罪、過ち、すべての過ちは死にはつながらない。これについては、いくつかの議論があって、多くの議論もありますけど、ヨハネは、死につながる罪の問題を取り上げますが、しかし、彼が言及するこの特定の兄弟は、死に至らない罪を犯しています。では、なぜこのような難しい議論が巻き起こるのか？ その兄弟は救いを失う可能性がある人と解釈する人がいるからです。

しかし、決してそうではありません。そんな解釈を聖書箇所を重ね合わせようとするれば、多くの問題が浮上ります。つまり、罪を犯している兄弟がいて、この罪、この間違い、すべての間違いは罪です。この兄弟のために祈る必要がある。しかし、私たちは祈りませんね？ これはキリストにある兄弟です。

彼は救われています。すでに永遠のいのちがあります。では、なぜヨハネは、神が彼にいのちを与えてくださるよう祈れと言うのか？ おお、それはこの世においての話です。彼のために祈りなさい。彼にはすでに永遠のいのちがありますが、しかし、彼はこの世で罪を犯しています。ありがたいことに、犯した罪は肉体的な死につながるものでなく、だからこそ、神が彼に命を与えられるよう私たちは祈ら

ねばなりません。これが教訓です。お付き合いください。もっと簡単に言えたらいいんですが。言えません。実際に難しくなります。ここであなたが立ち去られるなら、ごきげんよう。ー (笑) ー 失礼。しかし、真剣に、大真面目に、このことを見逃したら、今日の箇所の残りの教えは何の意味もなくなります。いいですか?ですから、私たちの1つ目の答えは、間違っている人のためにいつも祈るべきです。特に、私たちが不当な扱いを受けている時。それは、私たちの罪の性質、アダムの性質のすべてに敵対します。それについて言及した瞬間に。「彼らは私に不当な扱いをしたんだ。彼らは私に対して罪を犯したんだ。あなたは私に彼らのために祈れというのか? あ〜わかったよ。彼らのために祈ってやるよ。」ー (笑) ー 気をつけてください。これはイエスが仰ったことだからです。何について話しているかわかりますね? 記憶を呼び覚ましましょう。「マタイの福音書 5章」43節から、イエスは仰います。

ー マタイ 5 : 43 ー

『あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎め』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。

ー マタイ 5 : 44 ー

しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。

OK。45節まで行けません。ここで止めます。「私がそれをするというのか!! 私を恨み、迫害し、憎む者たちのために祈れって? 彼らのために祈れと?」そうです。イエスは続けて言われます。

ー マタイ 5 : 45 ー

天におられるあなたがたの父の子どもになるためです。父はご自分の太陽を悪人にも善人にも昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからです。

それは良いことですよ。「すべての良い贈り物、またすべての完全な賜物は、上からのものです。」

(ヤコブ 1 : 17 参照)

イエスはさらにこう仰います。「自分を、、、」一緒によく考えてください。イエスが仰います。

ー マタイ 5 : 46 ー

自分を愛してくれる人を愛したとしても、あなたがたに何の報いがあるでしょうか。(国税庁捜査官) 取税人でも同じことをしているではありませんか。

つまり... いや、そう考えられていたんです。あなたが国税庁捜査官なら、イエスの御名によってあなたを愛します。しかし、本当ですか? 再度、これは、、、私自身を例えにして説明します。私は敬虔で謙虚な牧師だから、チームのために犠牲になります。しかし、これが私のすることです。あなたが私を好きだとわかると、「まあ、私もあなたが好きだよ。」でも、あなたが私のことを嫌っているとわかったら、どうしますか? 「私もあなたが好きじゃない。」そうでしょ? 頼みますよ。つまり、それがイエスが仰っていることです。つまり、みんなそうしますね。自分を愛してくれる人を愛するなら、それは普通のこと。当然です。取税人ですらそうします。

ー マタイ 5 : 47 ー

また、自分の兄弟にだけあいさつしたとしても、どれだけまさったことをしたことになるでしょうか。

「やあ、兄弟。調子はどう?」皆そうします。「取税人でも同じことをしているではありませんか。」とさえ書かれています。皮肉なことに、マタイはイエスに召される前は取税人でした。ここでもまた、神のユーモアのセンスが感じられます。これは私の話で、拘りです。マタイは、聖霊によって導かれ、イエスがある人を取税人に例えて説教されたことを書き、記しました。(マタイがかつて取税人だった。)それが、おおそれが、主です。神はそのように良いお方です。あなたがどこから来たのかを思い出させる

ために。大変確信/罪の示しがあるので、このままにしておきます。

— マタイ 5 : 48 —

ですから、あなたがたの天の父が完全であるように、完全でありなさい。

イエスがここで何を言っているか分かりますか？ 主は仰っています。「わたしのようにしてほしいのです。」(父) 親にそっくりな (息) 子であってほしいです。直訳：元の木塊からとれた一片 父のような、息子のような。御父の愛。ヨハネが語ったのを覚えていますか？

「神が目に見えない存在ならば、人々はどのように目に見えない神の愛を見ることができているのか。」

答え：私たちを通して。人々は私たちを通して、目に見えない神の愛を見ます。父に似た息子です。彼は父の目を持っている。彼女は父の目を持っている。「この親にしてこの子あり」

直訳：リンゴは木から遠くには落ちません。ここでもっと慣用句が必要ですか？ これはイエスが仰ったことです。「わたしは、あなたがたに、愛する天の父のようになってほしい。天の父は、正しい者に農作物のために雨を降らせるのと同じように、正しくない者にも雨を降らせられる。神はその農作物に太陽を照らすのを許しておられます。それが彼らの生活の糧です。正しい者にもなさるように、正しくない者にもなさる。「ローマ人への手紙 8 章 29 節」、私たちが召された目的のすべてではないでしょうか。

「ローマ人への手紙 8 章 28 節」の後にあって、意味深なのわかります。しかし、私たちはその目的のために召されています。

— ローマ 8 : 28 —

神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。

神の目的は何ですか？ 私たちをもっと主のようになさること。ところで、この 1 週間、主との時間の中で、神が私の目を開いてくださったことを分かち合いたいです。再度、私と同じように確信/罪の示しがあってほしいからです。「キリストに似ること」について話すとき、私たちは好む傾向が、、、これについては何も間違っていないが、、、しかし、私たちはキリストに似たもので好む傾向があるのは、愛、喜び、平安、謙虚、柔和、親切、寛容...。しかし、また実際それが意味するのは、「キリストに似ること」は、実際にはもっと重要な意味があって、私たちがキリストの弟子なら、キリストと共に十字架にかけられています。神は、私たちをよりイエスに近づけたいと願っておられます。イエスはどのようなお方だったのか？ おお、イエスはいのちを犠牲にされました。おお、そんな細則は読んでいませんでした。それがキリストに似るということ。自分の命を犠牲にし、自分の十字架を担い、自分自身に死ぬこと。それがキリストに似るということ。そうすると、全体の様相が変わってきますね。私は愛、喜び、平和のすべては得意でした。「ガラテヤ人への手紙 5 章」にあるように、謙遜や忍耐にも取り組みました。私はそれらが得意です。しかし、私をよりイエスのようにするのは、イエス・キリストの似姿にするため、私をよりイエスに似た者にするのは、そういう意味もありますが、それ以上の意味があります。ですから、ではごきげんよう。これは 16 節の後半と関連します。

それに加えて、2 つ目の質問、「彼らのために祈るのか？」「彼らへの愛はあるのか？」

ここからが少し難しくなります。その理由は 2 つ以上あります。

1 つ目は、肉体の死につながる罪がある。言い換えると、あり得ます。お付き合いください。新生したクリスチャンが、この世の人生で、早すぎる死を招くレベルの罪を犯すこと。お許しただけなら、説明します。誰かが、キリストのからだに脅威を与え、キリストのからだを見極めず、その結果、他者を愛さ

ないなら、初代教会では、愛の祝祭、アガペーの祝祭として知られていて、彼らは主の晩餐を祝い、全員が食べ物を持ち寄りました。しかし、当時のローマ帝国では新しいクリスチャン、新しい信者の大半は奴隷でした。彼らの多くにとって、それが1週間で唯一の食事でした。しかし、初代教会には他にも手段を選ばない人々がいました。彼らはこれら祝祭のために集まり、親しみを込めてポットラックなどと呼ぶかもしれませんね。食べ物を持ってきますが、彼らには何も食べさせない。使徒パウロは、聖書の中で最も息をのむような箇所で、こう語り、コリント教会と向き合います。「第一コリント人への手紙 11章 17節」から読ませてください。ちょっと注目ください。これは使徒パウロが書いています。

— 1コリント 11：17 —

ところで、次のことを命じるにあたって、私はあなたがたをほめるわけにはいきません。あなたがたの集まりが益にならず、かえって害になっているからです。

— 1コリント 11：18 —

まず第一に、あなたがたが教会に集まる際、あなたがたの間に分裂があると聞いています。...

...ある程度は、そういうこともあろうかと思えます。

— 1コリント 11：19 —

実際、あなたがたの間で本当の信者が明らかにされるためには、分派が生じるのもやむを得ません。

— 1コリント 11：20 —

しかし、そういうわけで、あなたがたと一緒に集まっても、主の晩餐を食べることにはなりません。

— 1コリント 11：21 —

というのも、食事のとき、それぞれが我先にと自分の食事をするので、空腹な者もいれば、酔っている者もいるという始末だからです。

何ですって！ 22節、JDバージョンの方が良さそうですね。何だって〜〜？！ 失礼しました。

— 1コリント 11：22 —

あなたがたには、食べたり飲んだりする家がないのですか。それとも、(聞いてください。) 神の教会を軽んじて、貧しい人たちに恥ずかしい思いをさせたいのですか。私はあなたがたにどう言うべきでしょうか。ほめるべきでしょうか。このことでは、ほめるわけにはいきません。

では、27節を見ると、パウロはこう書きます。

— 1コリント 11：27 —

したがって、もし、ふさわしくない仕方でパンを食べ、主の杯を飲む者があれば、主のからだと血に対して罪を犯すことになります。

— 1コリント 11：28 —

だれでも、自分自身を吟味して、そのうえでパンを食べ、杯を飲みなさい。

— 1コリント 11：29 —

みからだをわきまえ(見極め)ないで食べ、また飲む者は、自分自身に対するさばきを食べ、また飲むことになるのです。

そして、パウロはこう言います。30節、

— 1コリント 11：30 —

あなたがたの中に弱者や病人が多く、死んだ(眠った)者たちもかなりいるのは、そのためです。

— 1コリント 11：31 —

しかし、もし私たちが自分をわきまえるなら、さばかれることはありません。

「第一コリント人への手紙」の節ごとの学びの時を思い出します。 厳しかった、キツかったです。私はそれを教えたんですよ。 多分ここにいる誰よりもキツかったです。この章の学びは、いえ、つまり、私は頭が下がる思い/脱帽でした。おお、神よ！ いえ、つまり、これは、聖書の章ごと、節ごとの学びで、教えないのを願う箇所です。私はこの章を読み飛ばすでしょうから。つまり、「本当？これが本当に起こったんですか？」はい、起こりました。キリストのからだに対して罪を犯しているクリスチャン、新生したクリスチャンを、主の晩餐である愛の祝宴に神が参加させますか？ 彼らはキリストにある兄弟姉妹を愛のない方法で不当に扱っていました。「そのことで、彼らに注意を促すために、神が彼らを病床に伏させるというレベルにまで高められたのですか？」はい、そうです。

「またあなたは私に言うんですか？」いいえ、実際私があなたに言うのではなく、聖霊によって使徒パウロがあなたに語っています。神は、彼らを病床に伏させることで彼らの注意を促せないのなら、死によって彼らを家(天)に帰されました。私たち全員、頭を下げ目を閉じて、この箇所を読み飛ばせますか？ 一体全体なぜ？ そう、彼らがしたことは、あらゆるクリスチャンを認めない。金持ちであろうと貧乏人であろうと、ユダヤ人であろうと異邦人であろうと、尚、キリストのからだの一部です。イエスは、一人ひとりと同じように愛しておられ、人々に間違い/不当な扱いをしたため彼らが裁かれた理由です。これは主のからだです。 イエスがかしらです。(コロサイ1：18参照)

これはキリストのからだ、信者のからだです。こんなことが起きたとは想像もつきませんが実際に起きました。彼らがそのような裁きの下に置かれたことを理解するのが重要です。理由は、他の信者に害を及ぼしかねないからです。彼らは(キリストの)からだにとって手強い脅威であり、守るためでした。この例えが使えるか、、、少し荒っぽいかもしれませんが、準備してください。狂犬病に感染した犬がいます。すでに、、、運命は決まっています。今すぐ、あなたはその犬を処分せねばなりません。その犬は、あなたの子ども、家族の脅威となるからです。ですから、あなたはその脅威を排除せねばなりません。それが起こったことです。彼らはまだ救われています。私たちはまだ天で彼らに会えます。早い便になっただけです。しかし、神が語られるのは、「わたしのからだ、信者のからだに脅威があるあなたを置いておくリスクは負えません。ですから、あなたの注意を引きましょう。あなたの注意を引く1つ目の方法は、あなたを病気と苦しみで床につかせる。それが効かなければ、あなたは家(天)に帰る。わたしはあなたを取り除かねばなりません。」

これは厳しいですが以前にも1~2回ほどあまり頻繁ではなく話しました。しかし、大変厳しい。私は1つの事例を知っています。これは、キリストにある姉妹に起きた本土での出来事でした。彼女は天国にいるでしょう。しかし、彼女は多くの害を及ぼしていました。残念なことに、彼女は癌を克服しましたが、四輪駆動車の不慮の事故で亡くなりました。何と呼びますか？ 四輪バギーとか？ それってどうですか？ そのとき、わお！と思ったのを覚えています。すぐに思い浮かんだのが、「第一コリント人への手紙11章」と「第一ヨハネの手紙5章」でした。それがヨハネが話し書いていることだからです。

それがパウロが、コリントの信徒に嘆願していることです。あなたは自分自身に裁きをもたらす。キリストのからだにおいて、あなたが誰かに接する方法、神はそれを大変深刻に受け止め見ておられます。神は、ご自分の教会を大変守られ、ご自分の教会をととても大切にされます。さて、誤解を招かないように手短かに言うと、病気は通常、神の裁きの結果ではありません。多くの場合、病気や特に死は、墮落した世に生きている単なる結果で、神が私たちの罪のために私たちを裁かれているわけではありません。しかしな

がら、神が誰かを家(天)に帰す必要があると判断される時があります。もし誰かが主の教会に脅威を与えるのであれば、今、自問自答する2つの質問があります。

1つ目は：私は、、、

これはすべて、「自分が不当な扱いをされたのか、それとも自分が不当に扱ったのか？」という問いに答えるためです。

質問1：自分は彼らのために祈るのか？

質問2：自分は彼らへの愛があるのか？

ところで、自分が彼らのために祈り、彼らへの愛があるなら、2つの方法によって、彼らはあまり長く敵とはならないでしょう。どういう意味ですか？ まず、神はその祈りに答えられます。時に私たちを当惑させることもありますね？ あなたが敵のために祈る時、「彼らを祝福してください。急がなくていいですけれど。」とか。で、主がそうされると、あなたはこんな風、「おお、もっと待つべきだった。」

しかし、それから、彼らに対するあなたの心の何かが変わり、自分を不当に扱った相手に対して、いつまでも怒ったままではられません。あなたが彼らのために祈り、彼らへの愛があるなら、あなたの彼らに対しての心が変わります。それには理由があり、理由はたくさんありますが、おもに、今、あなたの目は、彼らがあなただにどのような不当な扱いをしたか、したことに向いていないからです。今、あなたの目は、代わりにイエスがあなたのためになさったことに向きます。ここ数週間、これについて話してきましたね。そう、私がこう集中するなら、「彼らは私に間違い/不当な扱いをした。」真実を明かせば、あなたも間違っていますよ。(ローマ 12:17)「悪に悪で返してはなりません。」(直訳：誤りに誤りを重ねても正しくならず)ですね？ しかし、私たちはまだそのように考えます。それが墮落した私たちの考えです。私たちは仕返ししたいのです。2, 3週間前の木曜日の夜その話をしました。

目には目を、歯には歯を。(出エジプト記 21:24-25、マタイの福音書 5:38)

ご存知ですね？ それは何だったかご存知ですか？ それは制限で、禁止でした。誰かがあなたの片目をとったら、あなたは何が欲しいか？ あなたは彼らの両目が欲しい。歯は、彼らがあなただの歯を1本とったら、彼らの全部の歯を取ってやる。それが人間の罪の性質です。そう、私たちはそうしたい。あなたが私に間違い/不当な扱いをした。仕返しするだけじゃなく、私に不当な扱いをしたあなたに危害を加えてやる。あなたは私に不当な扱いをしたから。彼らはおそらくそうしたのでしょ。しかし、こういうことです。おそらくあなたも、彼らに不当な扱いをしています。

「はい、でも彼らが先に私に不当な扱いをしたんだ。」OK。何とでも。しかし、そう、私たちは恨みを持ち続けます。これらの質問に「はい」と答えるなら、「彼らのために祈る」のが「はい」彼らへの愛があるなら、それなら、間違いは正されます。私は間違いを正します。

愛は多くの罪をおおうからです。(1ペテロ4:8)

では、17節に進みます。ここからが本番です。再度、私のように、あなたにも確信/罪の示しがあってほしいからです。「自分は彼らに間違い/不当な扱いをしているのか？」オズワルド・チェンバーズの言葉、「自分が不当な扱いをされたかどうかは問題ではない。自分が不当な扱いをしたかが問題だ。」

自分は不当な扱いをしたのか？ そう、彼らがあなただに不当な扱いをしたかもしれませんが、しかし、それはあなたと主の間のことです。主は次のように言われます。「彼らのために祈りなさい。彼らを愛しなさい。」主がそれを引き受けてくださいます。「はい、でも、彼らはキリストにある兄弟です。」

はい、でも何？ あなたは神に彼らを殺していただきたいのですか？ それが、コリントの教会でした。

あなたが神に願うのは、、復讐はわたしのもの。わたしが報復する。(ローマ12:19参照)

「まあ、私は主を手伝いたいです。」— (笑) — OK。言い過ぎましたね。わかります。

しかし、聖霊に自分の心を探っていただき、何がなにか見ていただく。責任は彼らではなく自分にあるからです。責任は私にある。どのように私は間違っているのか？ 結婚の例えを上げてもいいですか？ 私ではなく、あなたの結婚です。方程式に入れます。夫と妻がいて、どうなるかわかりますね？ この物語の次章を書けますね。対立して、無視し続ける。そう、2~3日です。おお、会衆席が、本当に静かです。いいえ、本当に、憤ったまま、日が暮れてしまいました。(エペソ4:26参照)

聞いた話を思い出します。実は、何年も前にこれを教えてくれたのはデイブ・ハントでした。この夫は、ある種の聖化された方法でこう自慢して、

「僕たち夫婦は、腹を立てて寝ることはないから、明け方2時、3時まで起きていることもある。でも、遅かれ早かれ、彼女は手と膝をついて這ってきて、僕にこう言うんだよ。」「ベッドの下から出てきて、男らしく戦え、臆病者！」— (笑) — それも追加料金なし。でも、無視する。「私に間違い/不当な扱いをしたからだ。」わお。他に何と言いますか？ タンゴを踊るためには2人必要。(責任は両者にある)

考えてみれば、あなたがいなければ、彼らがあなたに不当な扱いをするのは不可能です。うまく聞こえていませんね。私が言っていることがわかりますか？ 再度、あなたの結婚で、私の結婚じゃないです。

そう、あなたが不当な扱いをされているのは、そう、あなたが間違っていないから。もちろん、あなたは間違っていない。あなたは不当な扱いをされています。あなたは彼らにわからせたい。そして、あなたは祈ります。「おお、神よ...」いえ、実際私がこれをしました。正直に言わねばなりません。結婚当初、、私たちは結婚して35年です。最初の頃、私は本当に嫌な奴でした。今、告白しましたからね。

留意ください。「当初」と言いましたんで。今ではありません。今、私は完璧な結婚だからです。でも、私はよく祈ったものです。「神よ、彼女が間違っていると示してください。」男性方、ちょっといいですか？ 私を信じてください。そんなことを祈って時間を無駄にしないでください。主はその祈りに答えられません理由は、私たちは大変、、あなたは、効果的に熱心に祈ることについて話します。私たちの祈りは非常に詳細です。

「神よ、示してください。彼女に彼女がした事を、あれやこれやしなかった事を示してください。彼女が間違いました。彼女は私に対して、罪を犯しました。だって、私が一家の主人だぞ。妻よ！」— (笑) — はい、ペテロはどうですか？ ペテロがこう言う時、「夫たち、なぜあなたの祈りが天井から跳ね返されるのかわかりますか？ あなたは奥さんと理解し合いながら暮らしていません。」(1ペテロ3章参照) それどうですか？ 答えられない祈りに対してたくさんの理由を書いた保存メモのリストがあります。それがリストのトップだと言ったら信じますか？ あなたが祈り、神があなたの祈りに答えられないなら、夫たちよ、それが原因かもしれません。教会がキリストの花嫁であるように、彼女は私たちの花嫁ではないですか？ ですから、あなたの花嫁の扱い方、私たちの主の花嫁への扱い方、影響すると思いませんか？ そんなことを祈ろうとしないでください。神はその祈りに答えてくださらないからです。実際、あなたがそう祈り続けるなら、約束します。私にはそれを証明する傷跡があります。神は、あなたの祈りに答えてくださいますが、しかしそれは、神にその祈りに答えていただきたいとあなたが望んだような方法ではないでしょう。気づくのにそう時間はかかりません。「ちょっと待てよ。」他の例えがあります。たくさん例えがあります。どんな牧師もたくさんの例えを持っているはずです。一つ上げます。いつあなたが最後に、、再度、あなたの結婚生活についてです。あなたが不当な扱いをされたから、争いや口論に巻き込ま

れた。謙虚をめぐって最後に喧嘩をしたのはいつですか？ おお、今までにそうなったことはありますか？「私が間違っていた。」I was wrong 私たちの口から出す最も難しい3つの言葉：私が、ま...ま...ま...間違っていた。I/was/ wrong. ですね？ その光景を思い浮かべてください。

夫が妻のところに行き、こう言う、「ハニー、僕は神に君が間違っていることを示してくださるよう祈っていた。しかし、神は僕が間違っているのを教えてくださった。」その議論はいつまで続きますか？

その無視の状態はいつまで続きますか？ これは実際に起きたことです。私はとても複雑な人間です。実際、私たちは誰が最初に自分の間違いを認めるかで議論になりました。「いや、僕が先に間違っていた。」「いや、私が先に間違っていたのよ！」皆さん、そういうことはありませんか？ いえ、あなたはこの状況を完全に和らげ、解決しました。あなたが間違っていたからです。あなたが間違っていました。

「ハニー、僕が間違っていた。」そして、彼女はあなたを見て言います。「私の夫に何をしたの？」それはきつといい兆候ではありません。そのような男性は、、、「奥さんに花を贈ったらどう？」と言ったら、彼が言います、「彼女の誕生日でも記念日でもないし。」私は「まじ？ ただ花を買うだけじゃない？

理由いる？」「いや、花を持って帰ったら、何か悪いことをしたかと思われるよ。」私は言いました。「わお！」えー、あなたがそれをしたのは間違っただけのことから。あなたは間違っています。ただ謙虚になって、この3つの言葉を言ってください。私が間違っていました。I/ was /wrong.

あなたが間違っていたからです。そして、神が何をなさるかを見てください。今、あなたは水の源、天国の窓を開いたのです。つまり、天の軍勢がスタンバイしているのを思い浮かべます。

「彼は、(3語を) 言いました。行きましょう！」私たちは謙虚になり、間違っていることを認める。私がこのように指摘し、説明するのはなぜか？ 理由は、すべての人が罪びとなら、はい、すべての人が罪を犯します。それなら、私たち全員が間違っているということにならないでしょうか？ 私たち全員が間違っているのであれば、それなら、私たち全員が間違っていたと告白するのも理に適っていませんか？ これだけで、一晩でどれほどの数の結婚生活が変わるでしょう。これだけで、どれほどの数の教会が変わるでしょう。どれほどの数の人間関係が変わるでしょう。「汝の隣人を愛せよ」的なことを始める必要さえありませんよ。私の隣人って誰ですか？ 職場の同僚ですか？ そう、今誰か思い浮びましたね。彼らのことを考えただけで、(No/ダメだと頭を振る) その人は朝起きると、私を苛立たせる方法を考えようとしている。確かにそうです。確かです。これは実際本土で私に起こったことです。彼は救われました。彼は、朝起きるとよくその方法を考えていたことを認めました。私はただ、、、でも、私は彼を愛さねばなりませんでした。彼は今キリストにある兄弟だからです。でも、私が仕事に行くと、

この男、つまり、彼は私を試し、私を見張っていました。これだけで、一晩でどれだけの職場の人間関係が変わるでしょう。家族関係はどうですか？ 何のことかわかりますね？ 義理の家族はアウトロー/無法者。つまり、全て、、、ハワイではよくあることですね？ 家族関係。このことを思い出します。

私は追悼式をするたび、(猫の攻撃時の声)が出ます。こっち側、この宗派はこっち。彼らはあっち。

「彼らは来さえしない。彼らはこっち側がここに来るのがわかっていたから。こちら側がここに来るのがわかると、彼らは来ない。その人たちが来ると、彼らは来ない。ですから、彼らは来ません。」

酷いです。どうなるのか？ もう締めくくりますから。希望はあります。— (笑) — 何が起こるのでしょうか。自分自身に問いかけ、正直になりましょう。何が起こるのでしょうか？ 自分が謙虚になって、人生において、その人にこの3つの言葉を言うなら、何が起こるのでしょうか。あなたも同じように思いますか？ 私が彼らのために祈り始めたらどうなるでしょう。つまり、彼らは私が彼らのために祈って

いるのを知らないかもしれません。ここで私は、彼らが私にしたことに対して、この恨みを抱いていると、私は苦い根を許し、苦い根が発芽し、芽を出します。それが私を破滅させます。苦味、恨み、怒りは、毒を飲むようなもので、他人が死ぬのを望むようだとされます。それが、苦味です。それについても話しましたね。でも、何が変わるのでしょうか？ 私が彼らのために祈るなら、私は変わるでしょう。ところで、互いに愛し合いなさいという戒めです。律法は要約されています。「でもまあ、そんな気分にはなれません。今は愛を感じません。」おお、本当？ 愛を感じない？ 私はこう思います。私たちは、、義の者は、感情～によって生きるのですか？ さて、ここで何が起こるか。あなたは初めの愛から離れてしまった時。エペソの教会です。(黙示録2：4参照)(どこから落ちたのか思い起こし、悔い改めて)初めの行いをしなさい。(黙示録2：5参照)男性の皆さん、思い出してください。求愛していた頃は？ あなたが彼女と話しているのを聞いているだけで、周りの人は気分が悪くなりました。「おお、可愛い人よ！」彼女のために扉を開け、大変素敵でしたね。そして、結婚して、それはなくなった。何が起こったんですか？ あなたはもう彼女のために扉を開けません。実際、あなたは今、彼女に扉をバタンと閉めます。初めの行いに戻ってください。初めにうまくいったこと、初めの行いを繰り返してください。悔い改めてください。180度方向転換してください。初めの行い、初めに行ったことに戻り、繰り返してください。その愛を見てください。おお。実話です。最後の1つ。これが最後の締めくくりです。大丈夫。時計を見ないでください。私は今見たところです。

実話です。ある妻が弁護士事務所に行きました。彼女は離婚を申し立てたいのです。惨めで、腐った、臭い、意地悪な夫に対してです。弁護士は、クリスチャンです。彼らはクリスチャンです。悲しくも、、弁護士が彼女に言います。「あなたにしてほしいことがあります。彼をやっつけたいのですね？ 分かりました。離婚する前90日間、彼に食事を作って欲しいのです。毎晩、彼の大好きな食事をね。家の掃除をして、化粧をしてほしい。以前、結婚前にあなたがしていたように。」そこからあまり話は逸れたくありません。「家では着ないような服を着て、ただ着れますか？ 何とかそうしてくれませんか？」男性の皆さん、それは私たちのためでもありますよね。つまり、結婚した後、あなたは、、これは私自身のことを話しています。つまり、現在私たちは結婚しているからです。で、私は話しましたね。「愛しているよ。」結婚した日、、それで十分なはずですね？

「彼のために素敵にドレスアップしてほしいのです。彼が仕事から帰ってきたら、そこにいて、彼の大好きな夕食を作る。優しさで彼を殺して、それから離婚する。」彼女は「よ～し！」という感じでした。弁護士は何が起こるか分かっています。彼女がそれをすれば、突然、彼女の心は彼に傾くように変わります。彼女に対する彼の心はどうか？ 弁護士は待っています。3ヶ月経っても電話もメールも何もありません。何が起きたのか？「おお、私たちはとても愛し合っています。結婚当初よりも、今の方がもっと愛し合っています。」そういうことです。それがヨハネが言うことです。

「牧師さん、もう少し短い時間で話してくれませんか？」間違いなく、話せたでしょうね。—(笑)—でも再度、景色の良いルートで連れて行きたかったんです。カポノに上がってもらう前に、この方法で締めくくっていいですか？ 私と一緒にこれをしてくれますか？ 次の質問を自問自答し、心に刻む。聖霊にあなたの心を探っていただくのです。あなたの心の奥深くに、聖霊が自由にアクセスされるようにし、これらの質問を自問自答してください。特に、自分の人生に誰かがいて、彼らが自分にしたことを根に持って、それを手放そうとしないなら、それはあらゆる面であなたを内外から蝕みます。文字通り肉体的、精神的、感情的、心理的に、おそらくもっと重要なのは霊的にも。それはあなたを汚し、破壊します。

あなたは必要です。あなたは変えねばなりません。今のやり方を続けることはできません。神は、私たち自身についての真実を語られるほど、あなたを十分に愛され、私を十分に愛しておられます。ですから、私と一緒にこの質問を自問自答しませんか？ あなたの人生を一変させることを約束します。あなたはもう二度と戻れません。あなたの唯一の後悔は、もっと早くそうしなかったことです。もっと早く決断すればよかったという後悔があるとき、私はいつもその決断が正しかったとわかります。終わります。カポノ、上がって来てください。ご起立ください。祈りと賛美で締めくくります。きつかったです。私はまだ確信/罪の示しがあります。皆さんはどうですか？ 皆さんもそうであって欲しいからです。「はい」と言ってください。大変確信/罪の示しがあったと。いいですね。祈りで締めくくります。

お父様、ありがとうございます。おお、時に、嫌な気分を味わうと、気分が良くなり得ます。私たちがいかに悪いかを知るのには良いことでもあり、いかに間違っているかを知るのには正しいことです。私たちがいかに悪いかを知るのには良いことでもあり、あなたは正しいお方です。これが義の者です。これが義です。主よ、あなただけがおできになる通り私たちに住まわれ、私たちに御力を与えられ、私たちができるようになる聖霊がここから引き受けてくださいますように。自分自身の肉のエネルギーや力では、どうすることもできません。私たちに不当な扱いをする者のために祈ったり、私たちに不当な扱いをする者を愛したり、あるいは私たちが間違っていると認めることさえ。イエスよ、あなたが語られたように、「早く和解しなさい。」(マタイ5：25参照)

「ささげ物は(そこに、)祭壇の前に置きなさい。」(マタイ5：24参照)

それを捧げてはいけません。奉仕してはいけません。そのまま置いておきなさい。すぐに行って、先にそれを正しなさい。さもないと、悪魔が.....比喩的に言うと、最後の1ペニーまであなたは失うことになります。主よ、この必要な警告を感謝します。その強さ：強くなければなりません。これは是正です。正す必要があります。叱責です。時に、真理で愛をもって叱責される必要があります。主よ、感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7